

1 - (6) 日本文化の象徴である歴史都市・京都を「電線のない美しいまち」とするための無電柱化の早期推進

(国土交通省)

平成 16 年度から，国においては，歴史的景観に配慮すべき地区などの非幹線道路における新たな無電柱化の取組を開始されました。日本文化の象徴である歴史都市・京都の美しさを取り戻すため，これを一歩進め，景観にとりわけ配慮すべき地区（伝統的建造物群保存地区等）においては無電柱化を集中実施することを提案・要望します。更に一層の推進を図るために，無電柱化を義務化する新たな法制度の創設を提案・要望します。

なお，整備に当たっては，多額の建設費用を要するとともに，電力事業者等との整備合意や電力地上機器のコンパクト化等の協力を得ることは難しい状況にあります。その上，伝統的な町並みを形成する地域においては，電線類の地中化後の舗装復旧に際して，周囲の環境と調和したグレードの高い整備が必要であります。これらは電線共同溝の補助制度の対象となっておりません。

よって，次のとおり提案・要望します。

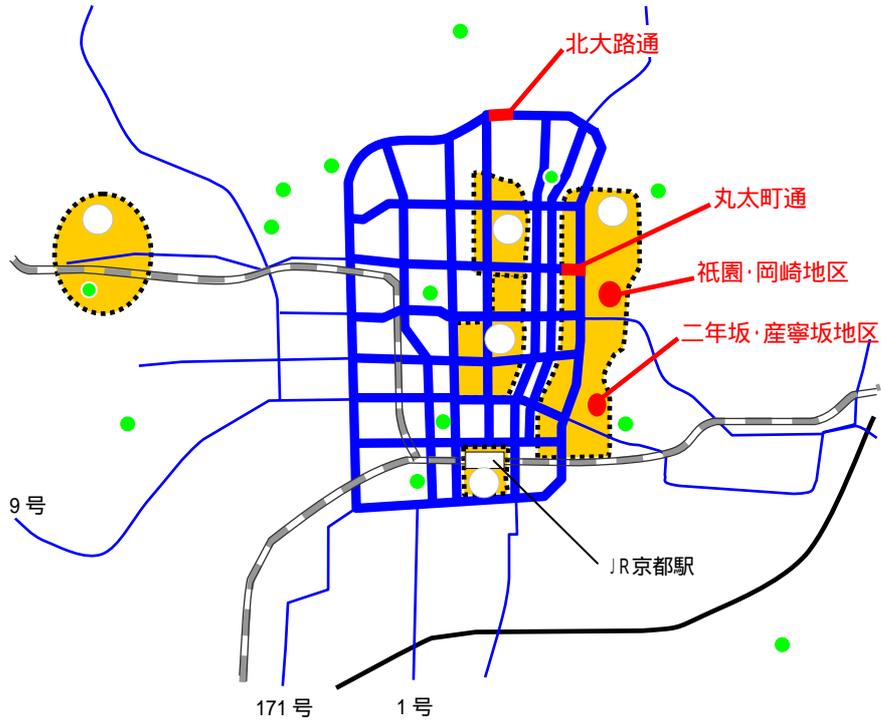
提案・要望事項

- 1 伝統的建造物群保存地区等における無電柱化の集中実施
- 2 伝統的建造物群保存地区等における無電柱化を義務化する法制度の創設
- 3 伝統的な町並みを形成する地域で，新たに石畳等のグレードアップ舗装を行う場合の財政措置
- 4 電線類地中化整備事業に係る国庫補助率の引上げ
- 5 関西電力・N T T 等への技術面を含めた協力要請

主な要望先：国土交通省(道路局路政課，国道・防災課，地方道・環境課)
京都市の担当課：建設局 道路部 道路維持課長 板倉治男 TEL 075-222-3568

< 参考 >

京都市の電線類地中化計画（イメージ）



電線類地中化の集中的実施地域 ●
 鴨東地区 嵯峨嵐山周辺 職住共存地区 京都御苑周辺 京都駅周辺地区
 18年度整備路線 — 地区 ●

主要幹線道路 —
 世界文化遺産周辺(高山寺,延暦寺を除く) ●

京都市の電線類地中化等実施状況 46.4 キロメートル（平成 18 年 3 月末現在）

無電柱化推進計画

平成 16 年度～平成 20 年度整備予定路線 34.3 キロメートル

平成 18 年度整備予定路線 2.1 キロメートル

〔 祇園・岡崎地区，二年坂・産寧坂地区，
 北大路通，丸太町通 〕



(整備前)



(整備後)